

小樽市
教育推進計画
主体的に学び
小樽の未来を創る
心豊かな人づくり

銭函地区の子どもたちの9年間を共にはぐくむ

銭函地区では、3つの小学校と1つの中学校との計4校で小中一貫教育を推進しています。また、4校で1つの学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクールとなって、地域とともにある学校づくりを目指しています。



小樽市小中一貫教育基本方針

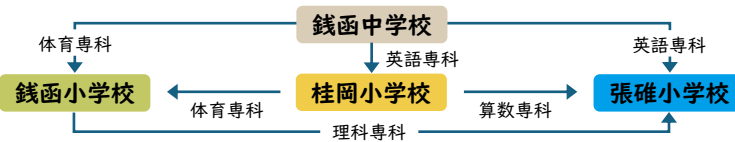
- 1 目標をつなぐ
- 2 子どもの学びをつなぐ
- 3 子どもの心をつなぐ
- 4 教職員の意識をつなぐ
- 5 家庭・地域との絆をつなぐ

● 目指す15歳の姿（銭函中学校の教育目標 令和5年4月制定）

夢や目標に向かって努力し、やり遂げる生徒

小中9年間の「学びのつながり」

- ① 「小樽授業づくりの5つのSTEP!!」に基づいた、子どもたちが主体的に学ぶための授業改善の推進
 - ・「7年間の総合的な学習の時間」や「9年間のクロームブックの活用プラン」など学校段階をつなぐ取組
- ② 小学校高学年での教科担任制の推進
 - ・小学校の専科教員による横の連携
 - ・中学校の加配教員による縦の連携
- ③ 「児童会生徒会オンラインミーティング」や「新入生体験入学での中学生の学校説明」など児童生徒の心をつなぐ交流



銭函小学校

教育目標

えがお・やさしさ・やる気
あふれる 銭小の子

令和8年4月制定

桂岡小学校

教育目標

夢をもち
ともに学び
やりぬく子

令和8年4月制定

張碓小学校

教育目標

自ら考え ともに高め合い
未来に向かって
努力する子ども

令和8年4月制定

家庭・地域

地域の支援を小中で
絶え間なくつなぐ
学校への関心が高く協力的
当事者の意識を持った参画

● 4校全体がチームで協力するためのしくみ（これまでの取組の継承と進化に向けて）

小中合同研修会

校長部会
各校の校長

「子どもが
主語」の未来を
全教職員で

各分掌部長を
中心とした
組織づくり

小中一貫連絡協議会

教頭・主幹教諭部会
各校の教頭・主幹教諭

教育課程部会
各校の教務主任
教務部等の先生

学力向上部会
各校の研究主任
研修部等の先生

生徒指導部会
各校の生徒指導主任
指導部等の先生

特別支援部会
特別支援の先生

保健部会
各校の養護教諭

事務部会
各校の事務職員

○中1ギャップの軽減・未然防止

心身両面における9年間の発達段階について小中の教職員の情報交換の密度を高くして、多面的な児童生徒理解につなげていきます。

○自らの人生を舵取りできる力の育成

4校すべての教職員が「小中合同研修会」に参加して共通理解を深め、多様な子どもたちの「深い学び」を確かなものにします。

○家庭や地域との連携の強化

学校運営協議会にて、小中の取組の評価や見直しを行い、保護者や地域の参画意識を高め、教育課題や子育ての目標を共有します。